

中ア 小黒川本谷から将棊頭山

2012年9月22日(土)～23日(日)

メンバー：磯部S、川村、ヤマメ、岩倉、川瀬、池田T(記)

『沢登り好きを増やそう！』第3弾（最終）は沢の中での幕営を楽しむ企画である。身軽な装備で日帰りの沢も良いが、焚火の炎を眺めつつ酒を酌み交わすことができるのは泊まりの沢山行だけである。

今回の沢は本谷という割には水量は少なめで流れは穏やか、沢登りと言うよりは沢歩きと言っても良い。大きな滝には巻き道が付いており、初心者でも経験者のサポート（必要に応じたロープによる確保）があれば遡行可能である。沢の詰めは藪こぎ無しで登山道に出ることが出来た。

あいにくの天候で将棊頭山からの展望は得られなかったが、皆で予定通りに行動出来た満足感を覚えつつ、一般ルートで桂木場に戻った。



①桂木場からさらに約1 km林道を進み、終点に車を停めて出発。歩き始めて数分で地形図に記載されていない巨大な堰堤に出会う。右岸に道がついているので簡単に巻くことができる。



②堰堤を降りて、すぐに沢に入った。



③しばらくは穏やかな流れが続く。



④ゴルジュの中に2段の滝。左岸の巻き道ルートを観察中。



⑤秋の訪れを知らせるトリカブト。



⑥直登が困難な滝の脇には大抵踏み跡がある。



⑦盛夏であればシャワークライミングが楽しいであろう。



⑧ここを越えれば幕営予定地は近い。右側の巻き道に行く。



⑨川村さん特製の豚汁。焚火を囲んで美味しく頂きました。



⑩こちらはブロッコリとマカロニをツナで合えたもの。大満足でした。



①初日の夜半から雨が降り出した。2日目は小雨の中、急傾斜を登っていく。水量は多くない。



②沢の水量がだんだん減ってきた。



⑬登山道に出た所。沢装備を解いてほっと一息。



⑭西駒山荘の横を通過。将碁頭山のピークを目指す。



⑮ここは「聖職の碑」の遭難記念碑。合掌してから引き返す。



⑯ここは地形図の2730m標高点では無い。山荘から西北西170mに位置するピークである。



⑰尾根ルート（地形図では登山道の表記が無い）を下っていく。



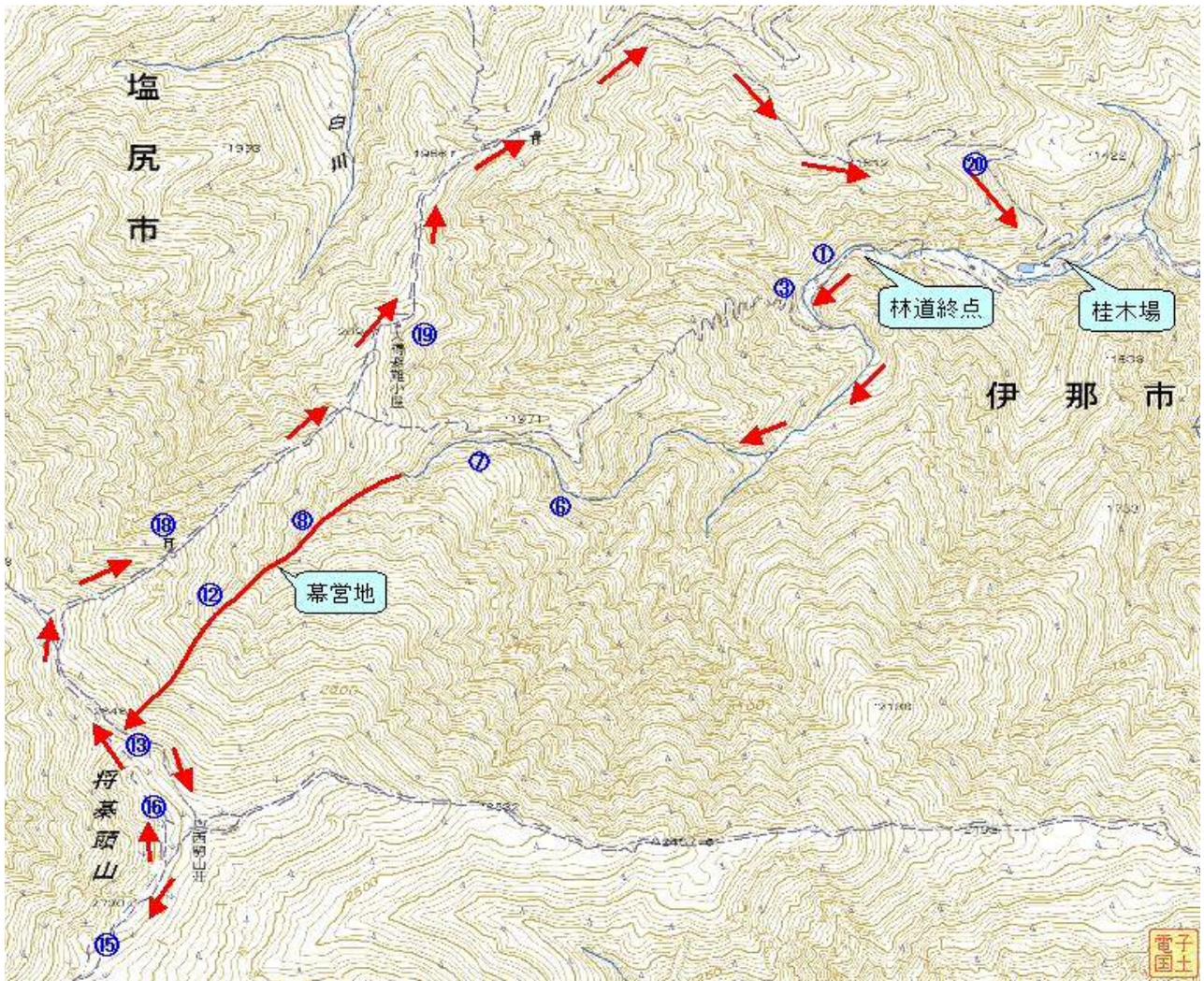
⑱地形図の鳥居記号は「津島神社」だった。奥にヒカリゴケが生息する岩穴がある。



⑱大樽小屋は笹に囲まれていたが室内は問題ない。普通に使える。



⑳「ブドウの泉」を過ぎた所。水はブドウ味??



丸付き数字は写真の番号に対応

以上